

第26回 岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2007年12月20日(木)～23日(日)

表彰式 2007年12月23日(日)午後12時～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

「絵画の部」出展数 52点

審査員：米沢 とくや 氏

賞	氏名	作品名	作品評
知事賞	伊藤 茂	供養の風	実力のある作家。重厚なマチエールに透明度があり、独特な独自の技法で構成された画面空間や心象的に描かれた風景は格調の高い精神性のある雰囲気をかもし出している作品で素晴らしい。祈る画面空間からは幻想的な何か神秘的なものを感じるのは作家の誠実な人柄と制作態度の心理が投影された作品となっている。
優秀賞	高橋 ツネ子	時	キャリアのある作家。描写力が抜群。技術的にもすぐれた才能をもっている方だと思う。地味な色調で整理された画面の構成には安定感がある。背景の空間も良く、重量感・存在感・風土性・生活感がある風景となっている。
奨励賞	佐藤 英子	Abstract Painting, Blue	発想と構成力は素晴らしい。色彩感覚も良く透明度があり、構成された画面空間には緊張感があり、作家の内面的な感情の躍動する表現力に生命力を感じる迫力のある作品。強い意志と信念をもった作家だと思う。感動した作品。
奨励賞	辻 齊一	秋日和の里	力のある作家の一人。今回は山村の風景を描いた作品で構図もきまっている。色調色彩も透明度があつて良く描かれている。作家が感動して描いた秋の詩情の風景は、郷愁をよぶ雰囲気の作品。作家の人柄だと思いますが、もう少しポイントに強さがあつても良いと思う。
佳作	小野寺 サチ子	初秋	力のある作家。秋色の街の一辺の風景と思われる。感情豊かに描かれた作品に、澄んだ空気の清々しさを感じる。初秋の風に乗って、作家の思いの詩が聞こえてくる様な風景となっている。
佳作	佐々木 君江	沼の浜番屋	作家が大自然の中に立って眺めていた風景は浜番屋の一軒の建物であった。天体の運行によって色々変わる春夏秋冬、夜と昼と厳しい浜の風景を女性の感性で描いた作品は、風土性・生活感のある風景となっている。前景を広くした構図は成功したと思う。
佳作	佐々木 サク	記念日	デッサン力のある作家。技術的にもうまく、構図の取り方も良く安定している。色彩には透明度があつて清々しさを感じる。女性の感性で色彩豊かに描かれた作品は清潔・清楚で作家の優しい心が良く表現された作品になっている。

総評

出品点数が多く出品されたことは喜ばしいのですが、小品が多かったのが残念です。しかし、大きい作品は力作が多く審査に苦労しました。

ご意見・ご感想

第26回 岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2007年12月20日(木)～23日(日)

表彰式 2007年12月23日(日)午後12時～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

〈〈写真の部〉〉 出展数 77点(内10点・親子ふれあい写真) 審査員：柏原 恰一 氏

賞	氏名	作品名	作品評
知事賞	平 宏之進	朝 阳	また日が昇る。歌にでも出てくる様な素晴らしい風景写真である。朝焼けの色が残雪なガスの雲に写り重厚な風景写真に仕上がっている。
優秀賞	遠 藤 政 美	瞳	何を見つめる子供だろう。祭の一コマではあるが純真な子供の瞳をキッチリと作画された。この美しさが大きくなるまで続く事を…と願う。
奨励賞	葛 卷 紀 男	花 火	夜空に一瞬の映像が花開く感性と時空を超えた所をとらえた素晴らしいを感じた。
奨励賞	小野寺 和也	森 の 恵み	静かに顔を出すキノコ。舞台の上のような光線状態をうまくとらえた。自然の中のドラマを見る。
佳作	福盛田 弘	染まる川	地球のビックバンの中にいるような光を見つけた所が良く表現されていた。
佳作	槻 田 久志	えぐねのある風景	くもり空の風景写真はなかなか難しいが、うまく表現された。カラーを単色に表した面白さがある。
佳作	佐 藤 韶 男	男衆の心意気	川の中へ清めに入るミコシの競演をうまくとらえているが、色彩が少々悪かった。

総評

例年以上に良い作品が出品されております。上位の作品はどれも良く順位をつけるのに苦労しました。風景写真が多くなり、スナップ、人物の良いのが少々であるのが残念でした。場所とか時間の選定は大変上等です。

ご意見・ご感想

スナップ写真の大半が、後ろからとか横からが多いようでした。もっと正面から堂々と撮影したいと思います。

第26回 岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2007年12月20日(木)～23日(日)

表彰式 2007年12月23日(日)午後12時～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

「書道の部」 出展数 18点 審査員：小林 大象 氏

賞	氏名	作品名	作品評
知事賞	蒲沢 弘子 (弘華)	高青邱詩	ダイナミックで立体感のある作。
優秀賞	古館武彦 (雪林)	趙秉文の詩	ベテランであり練られた作。 もう少し大小の変化が欲しい。
奨励賞	千葉 静男 (晴嵐)	處静修間	篆書体の堂々とした作。 落款文に一考を。
奨励賞	大釜フサ子 (苔悠)	李俊民の詩	まとまりのある作だが、潤滑の変化が欲しい。
佳作	石村廣志	後撰和歌集	筆は良く動いているが、流れに一考を。
佳作	高橋恵子 (白萩)	盧綸の句	古典を踏まえた作。 崩しに一考の箇所あり。
佳作	吉田貞子 (光穂)	玄祕塔碑	顔真卿の書法に今一歩の作。

総評

出品数は多くないが中央展でも入賞した実力作が数点出品していたことは心強かった。

ご意見・ご感想

次年度からは働く人（例えば教員）も、どしどし出品して欲しいと思う。